

主催者あいさつ



石森 秀三

日本コンベンション研究会 会長

皆様こんにちは。このフォーラムは日本コンベンション研究会が主催しておりますイベントでございまして、今回が10回目の開催になります。全国の研究者、自治体、観光協会、コンベンションビューロー、観光コンベンション関連企業などに呼び掛けをさせていただきまして、MICEや集客交流産業の在り方を地域の立場で議論する場として札幌市でスタートしたものでして、今は毎年日本各地で開催させていただいているところです。

今回のフォーラムにつきましては、新潟県MICE研究協議会にご協力をいただくと共に、共催をお願いいたしまして、この朱鷺メッセで開催の運びとなったものでございます。本日も多用の中を新潟市の篠田昭市長にもご列席をいただいております。

今回のフォーラムのテーマは「地域の魅力でMICEを創造!」でございます。まず最初に日本海側最大の見本市に成長した「新潟淡麗にいがた酒の陣」の取り組みにつきまして、実行委員長をお務めの齋藤俊太郎様に特別講演をいただくことになっております。続きまして基調講演といたしまして、「MICEによる地方創生/地域資源がMICEを生み出す」というお話を野村総合研究所の岡村篤様をお願いしております。特別講演、基調講演に続きまして、ラウンドテーブルミーティングといたしまして2つの分科会を用意させていただいておりますので、ご参加の皆様方には2つに分かれていただきまして、大いに議論が盛り上がることを期待しているところであります。夕方には意見交換会と称していますが、現実には懇親の場を用意いたしております。新潟の美味しいお酒を味わっていただきながら、皆様方で大いに談論風発いただければ幸いです。

明日は午前中にパネルディスカッション「インバウンド・MICEにプラス・ワン」というものを開催いたしまして、午後はエクスカッション、MICEサロン・ミーティング並びに夕方には交流会も開催する予定でして、お酒の消費が日本でダントツに高い新潟ですので、お酒をいただきながら談論風発できればと思っております。

昨年、日本のインバウンドは2403万人に達しております。2013年のインバウンドが1036万人でありましたので、3年間で急増、激増、爆増したところです。私ごとで恐縮ですが、私は20数年前に2010年代のアジアで観光ビッグバン、大爆発が起こると予測しておりましたので、まさに今、その予測を大きく超えるような形で多くの外国人の方々が日本を、そしてこの新潟にも来ておられるところでございます。私は2003年、小泉首相の下で観光立国懇談会が立ち上がりまして、その委員の1人となっております。2002年のインバウンドは526万人でしたので、本当に短期間のうちに観光立国が大きく進展しているところであります。観光庁の予算も来年度の概算要求では300億円を超える規模であります。ただ、残念ながらMICE促進関

係につきましては3億数千万円ということですから、観光庁予算のたった1%にしか過ぎないというところですので、観光立国で2020年4000万人、2030年6000万人という数字が大きく様々な形で取り上げられておりますが、本当は大切なMICEが必ずしも十分にまだ日本では認められていない面もありますので、そういった中でこの国際観光コンベンションフォーラムを通しまして様々な形でMICEを日本で促進させていくために、必要な物事を皆様方と一緒に毎回考えているところでございます。DMOが今、日本各地で立ち上がろうとしておりますし、そういった中でやはりMICEをどう一緒に併せて振興していくことができるかという点が大変重要です。

先程、日本コンベンション研究会の総会を開きまして、来年のこのフォーラムにつきまして長崎市で開催させていただくことを決めたところでございます。来年の2月14日から15日は是非ともまた長崎で皆様方と一緒に様々なことを学ばせていただければと思っております。今回のテーマは「地域の魅力でMICEを創造!」ということですので、2日間という限られた時間ではありますが、是非とも皆様方のご参画をいただきまして成果の上がる形にしていきたいと思います。ぜひともよろしくお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございます。

